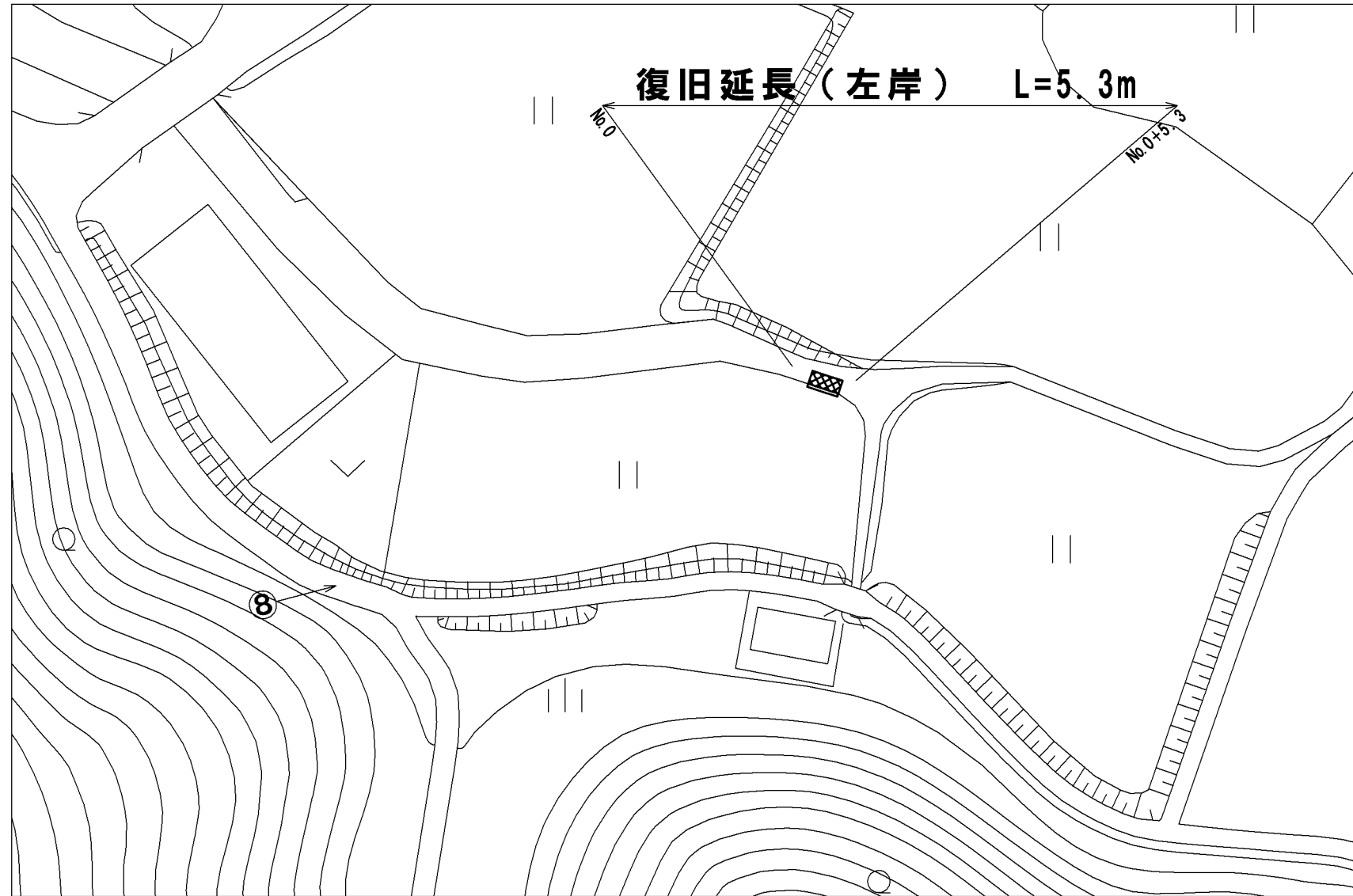


平面図 1:1000

工事概要

- 復旧延長（左岸） L=5.3m
- 環境保全型ブロック積工 A=13m²
- 植生工（ワラ芝） A=7m²
- すり付け工（石積） A=4m²
- 土留・仮締切工（大型土のう） N=5袋
- 土留・仮締切工（締切排水工） N=1式
- 工事用道路 L=56m

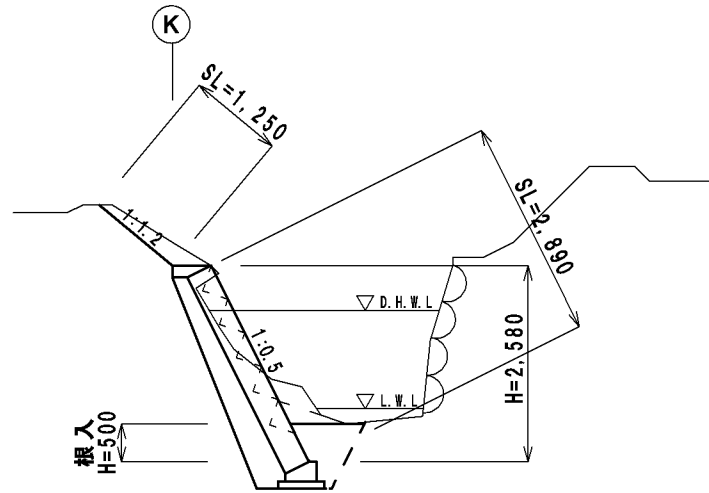


工事名	平成29年度 H29国災 第118・420号 普通河川長谷川左右岸河川災害復旧工事		
図面名	平面図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	1
事務所名	建設部 建設2課		

工事名	平成29年度 H29国災 第118・420号 普通河川長谷川左右岸河川災害復旧工事		
図面名	縦断面図、横断面図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	2
事務所名	建設部 建設2課		

横断面図 1:100

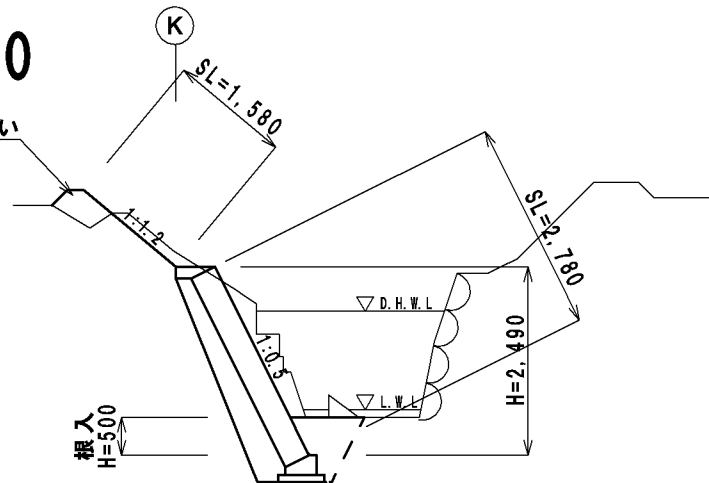
No.0



掘削	1.7m ²
床掘	1.2m ²
埋戻	0.5m ²
盛土	-
法面工	1.25m
裏込碎石	0.93m ²

No.0+3.0

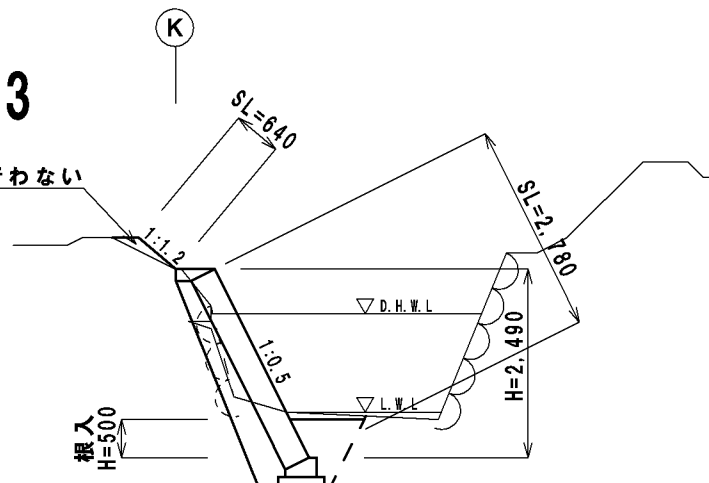
転圧は行わない



掘削	2.0m ²
床掘	1.2m ²
埋戻	0.5m ²
盛土	0.3m ²
法面工	1.58m
裏込碎石	0.88m ²

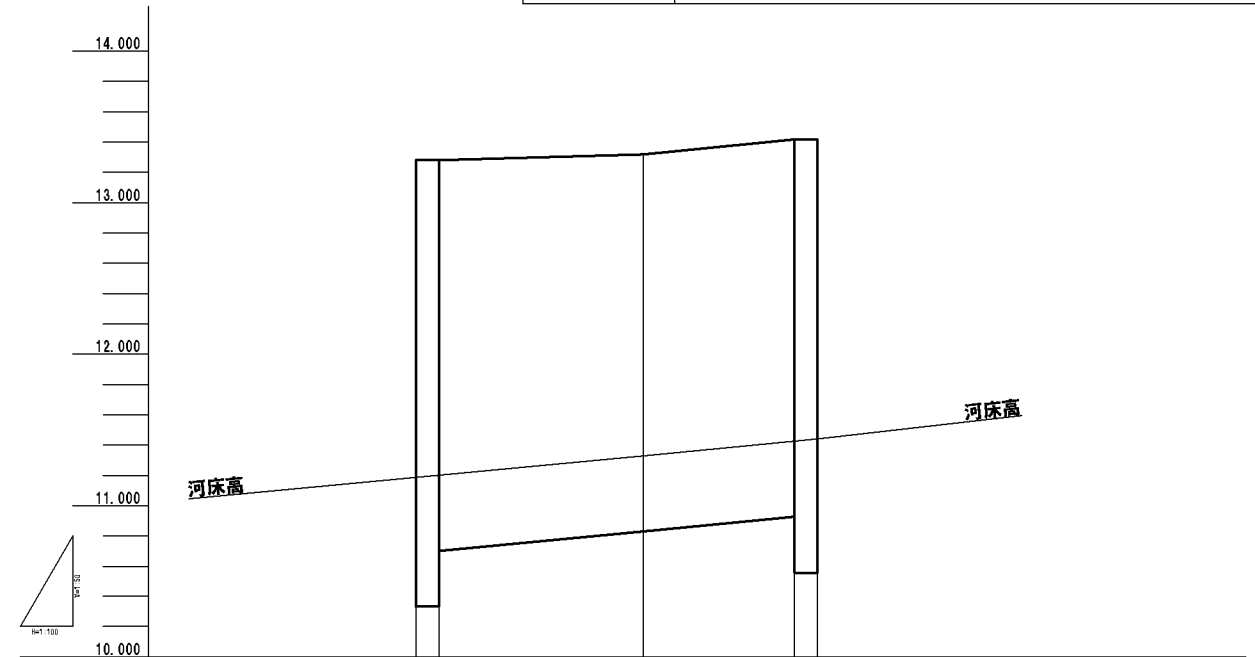
No.0+5.3

転圧は行わない



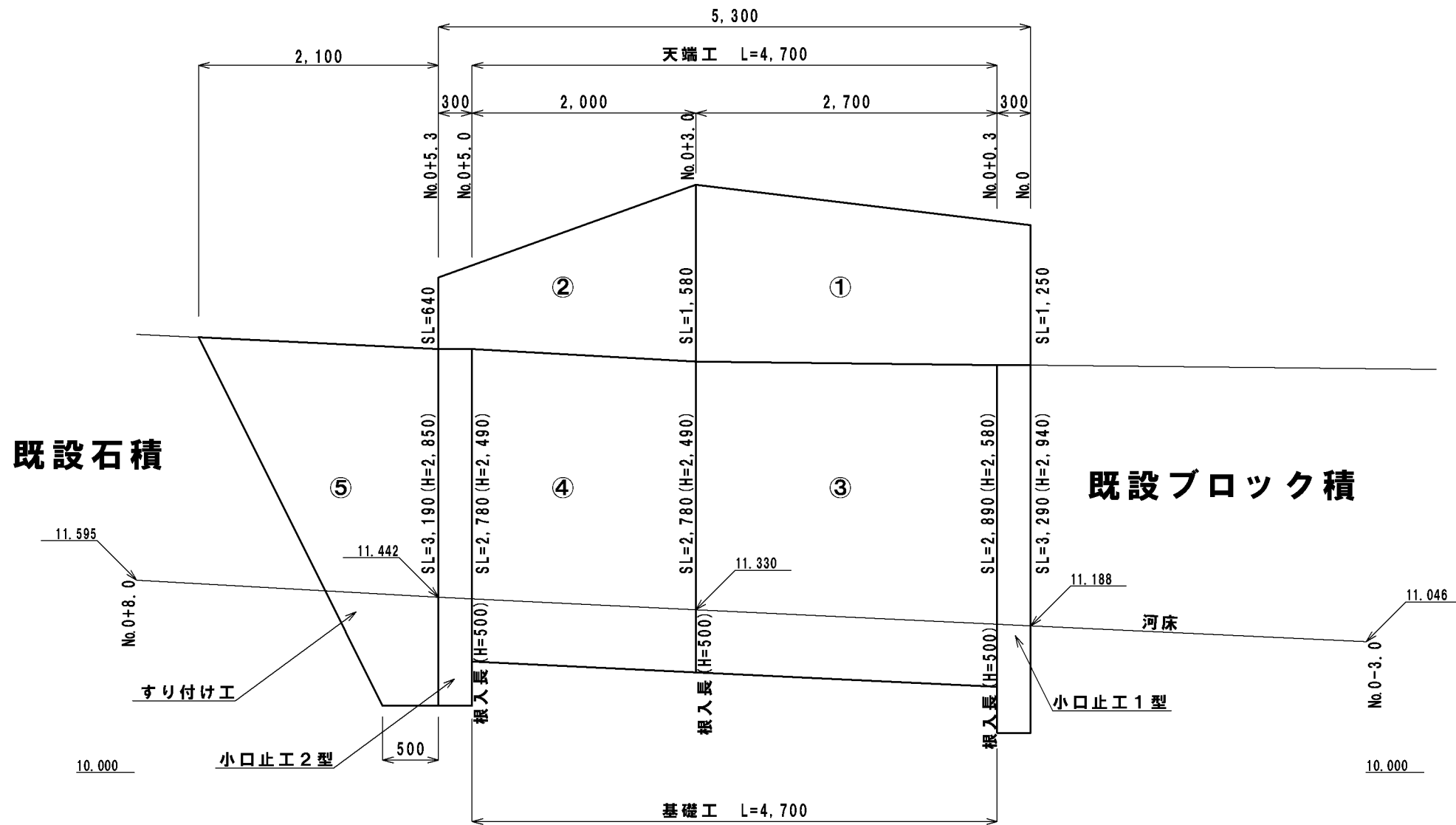
掘削	0.7m ²
床掘	1.2m ²
埋戻	0.5m ²
盛土	0.1m ²
法面工	0.64m
裏込碎石	0.88m ²

縦断面図



河床勾配	11.046	0.047%	11.330	0.048%	11.442	0.051%	11.595
天端高		13.282	13.282	13.320	13.418	13.418	
河床高	11.046	11.188	11.202	11.330	11.428	11.442	11.595
基礎工		10.702		10.830	10.928		
区間延長		3.000	0.300	2.700	2.000	0.300	3.000
追加延長	-3.000	0.000	0.300	3.000	5.000	5.300	8.000
測点	No.0-3.0	No.0	No.0+0.3	No.0+3.0	No.0+5.0	No.0+5.3	No.0+8.0

展開図 1:50



植生工

$$\begin{aligned} \text{①} & (1.250 + 1.580) \div 2 \times (0.300 + 2.700) = 4.245\text{m}^2 \\ \text{②} & (1.580 + 0.640) \div 2 \times (2.000 + 0.300) = 2.553\text{m}^2 \\ \text{合計} & 4.245 + 2.553 = 6.798\text{m}^2 \end{aligned}$$

コンクリートブロック積工

$$\begin{aligned} \text{③} & (2.890 + 2.780) \div 2 \times 2.700 = 7.654\text{m}^2 \\ \text{④} & 2.780 \times 2.000 = 5.560\text{m}^2 \\ \text{合計} & 7.654 + 5.560 = 13.214\text{m}^2 \end{aligned}$$

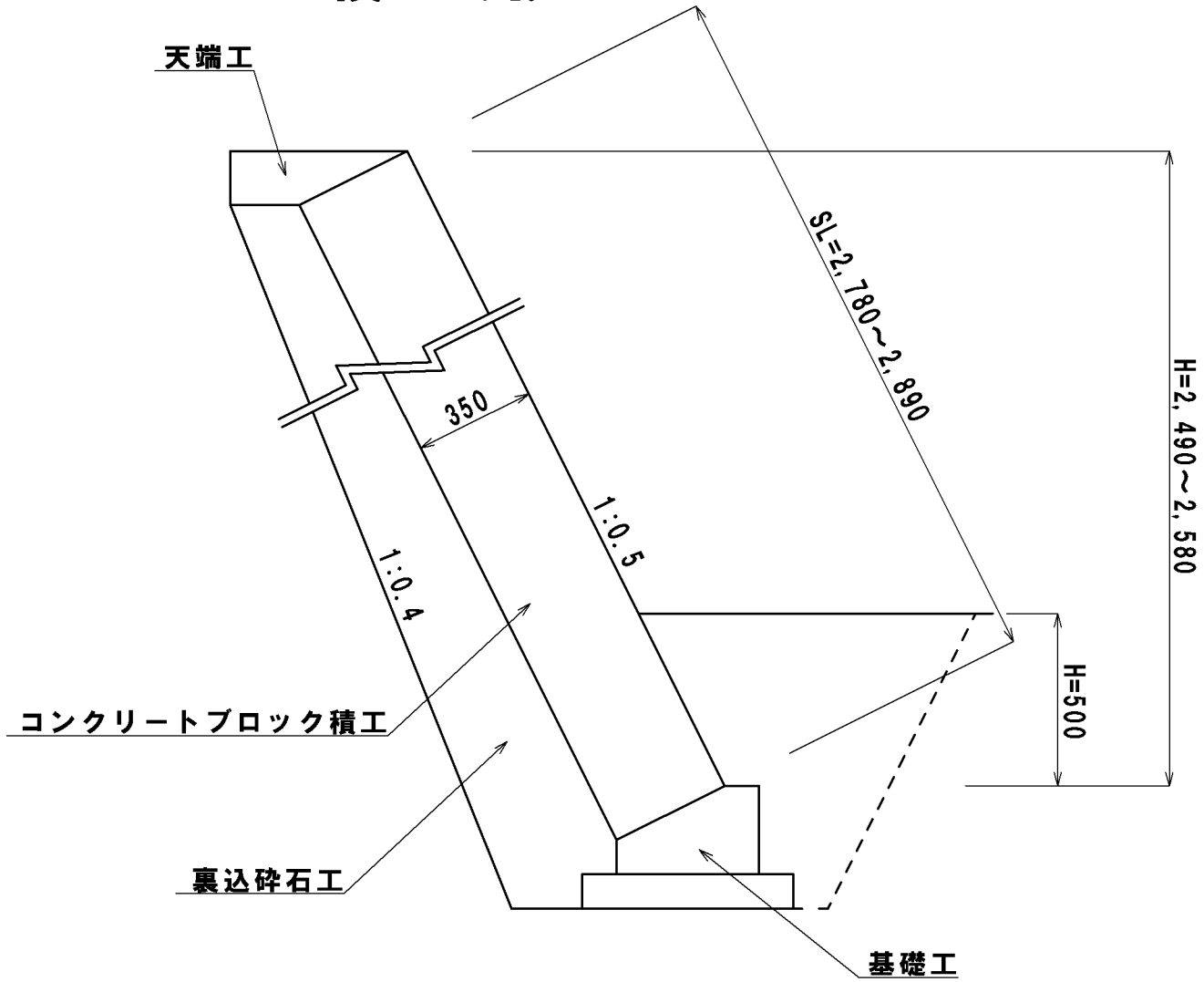
すり付け工

$$\text{⑤} (2.100 + 0.500) \div 2 \times 3.190 = 4.147\text{m}^2$$

工事名	平成29年度 H29国災 第118・420号 普通河川長谷川左右岸河川災害復旧工事		
図面名	展開図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	3
事務所名	建設部 建設2課		

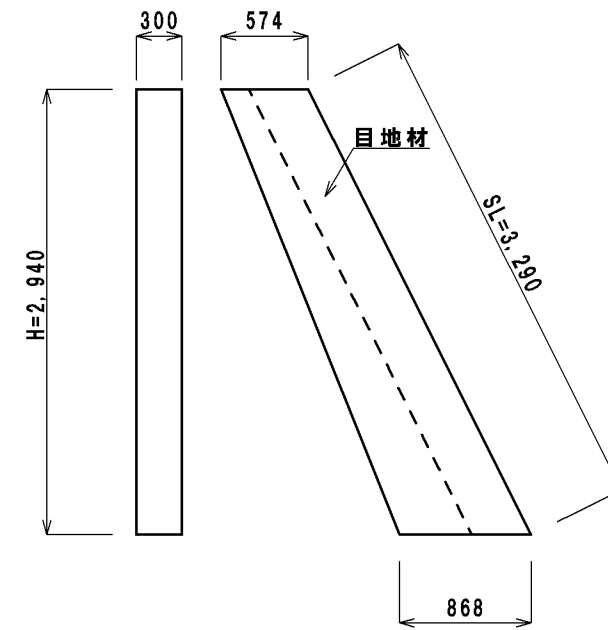
工法図

ブロック積工 1:20

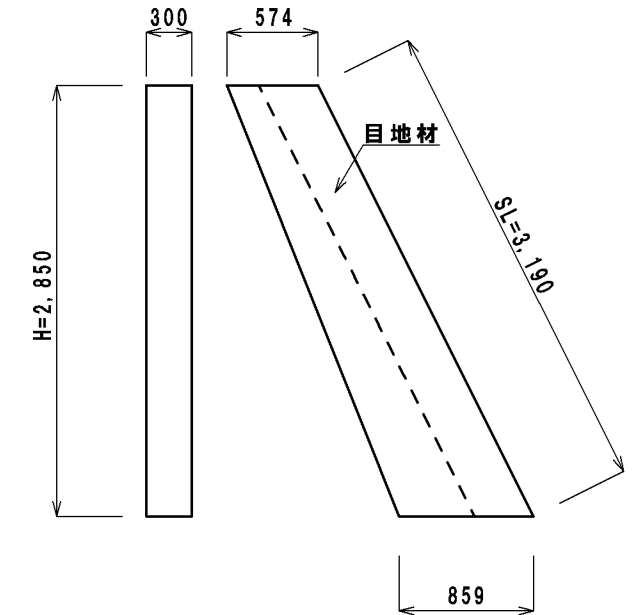


小口止工 1:50

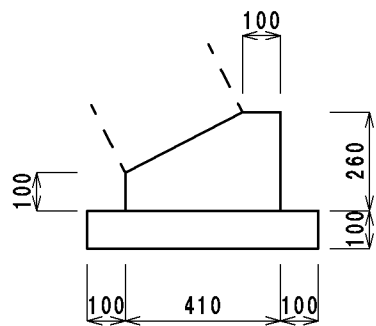
小口止工 1 型



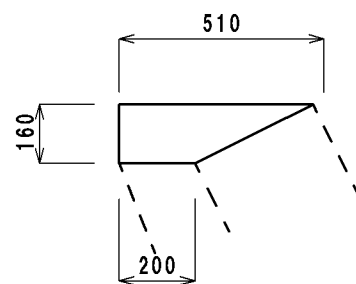
小口止工 2 型



基礎工 1:20



天端工 1:20

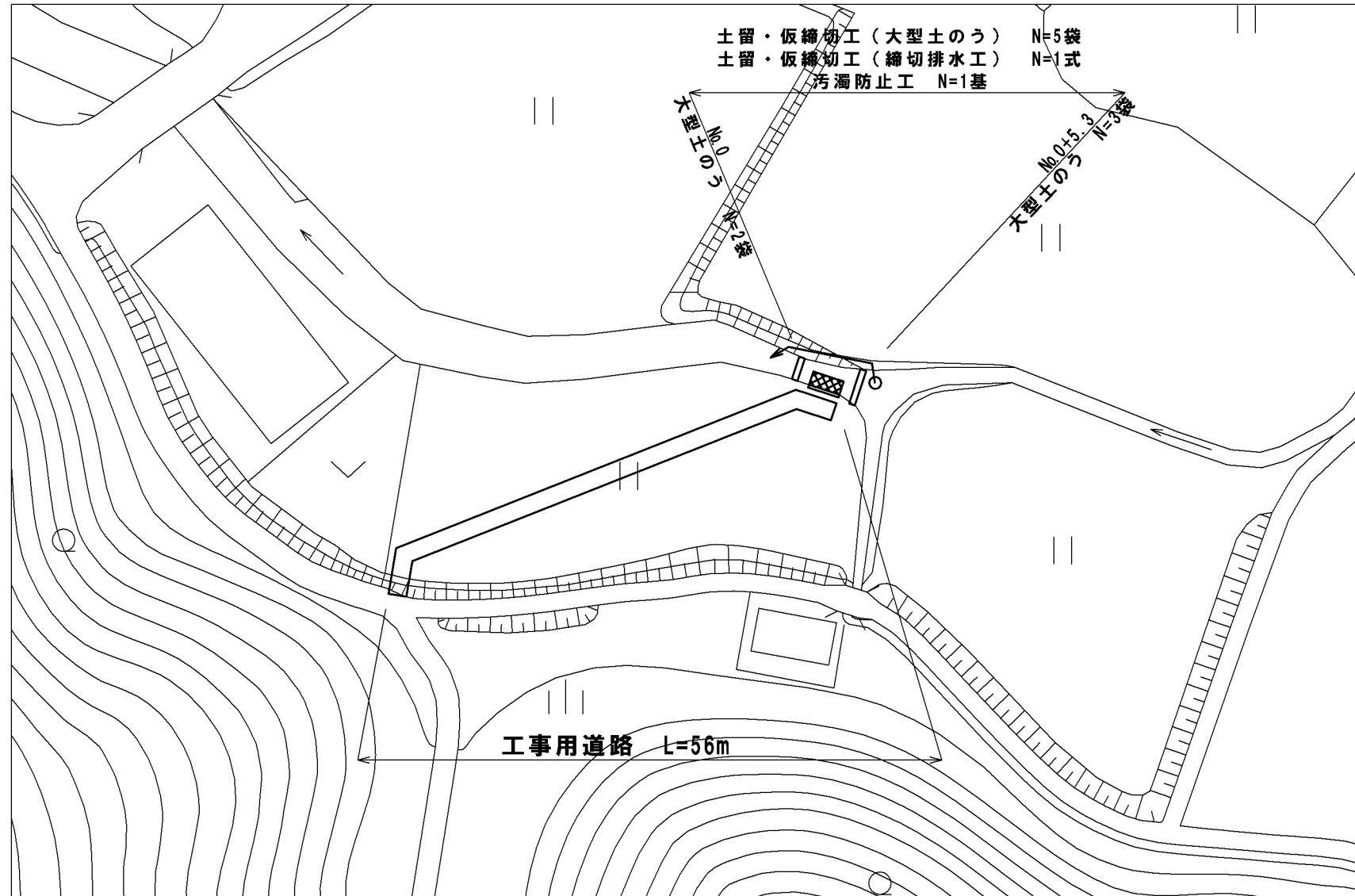


コンクリート $(0.574 + 0.868) \div 2 \times 2.940 \times 0.30 = 0.635\text{m}^3$
 型枠 $(0.574 + 0.868) \div 2 \times 2.940 \times 2 = 4.239\text{m}^2$
 型枠(化粧) $3.290 \times 0.300 = 0.987\text{m}^2$
 目地材 $0.350 \times 3.290 = 1.151\text{m}^2$

コンクリート $(0.574 + 0.859) \div 2 \times 2.850 \times 0.30 = 0.612\text{m}^3$
 型枠 $(0.574 + 0.859) \div 2 \times 2.850 \times 2 = 4.084\text{m}^2$
 型枠(化粧) $3.190 \times 0.300 = 0.957\text{m}^2$
 目地材 $0.350 \times 3.190 = 1.116\text{m}^2$

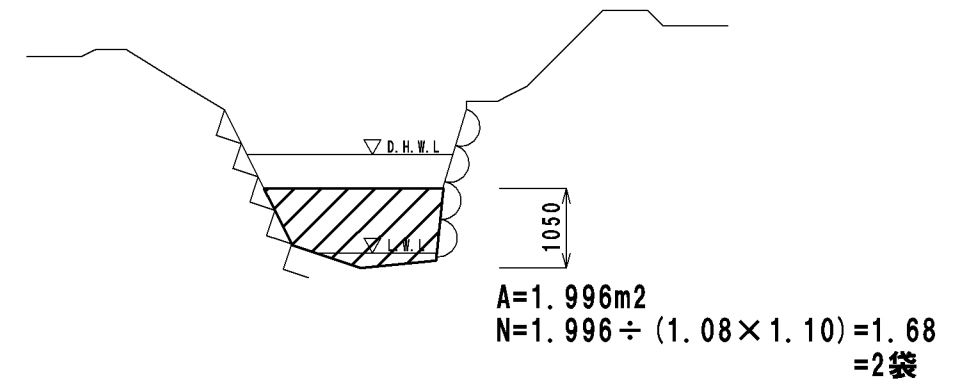
工事名	平成29年度 H29国災 第118・420号 普通河川長谷川左右岸河川災害復旧工事		
図面名	工法図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	4
事務所名	建設部 建設2課		

仮設平面図 1:1000

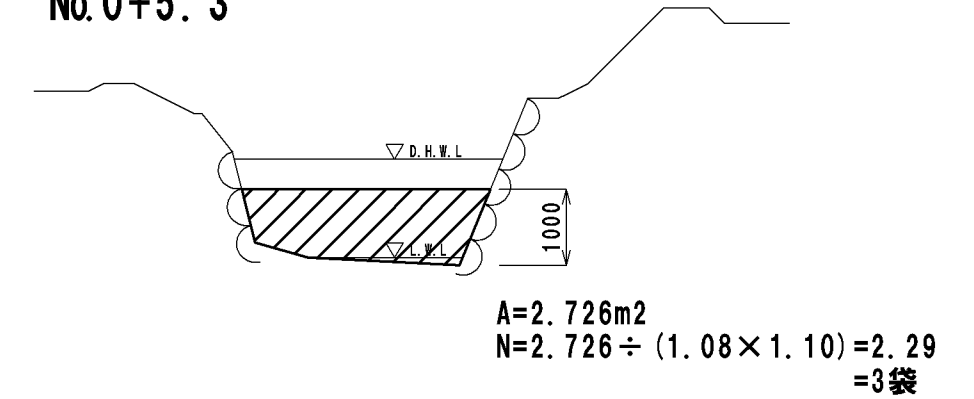


締切排水工断面図 1:100

No.0



No.0+5.3



工事用道路標準断面図 1:100



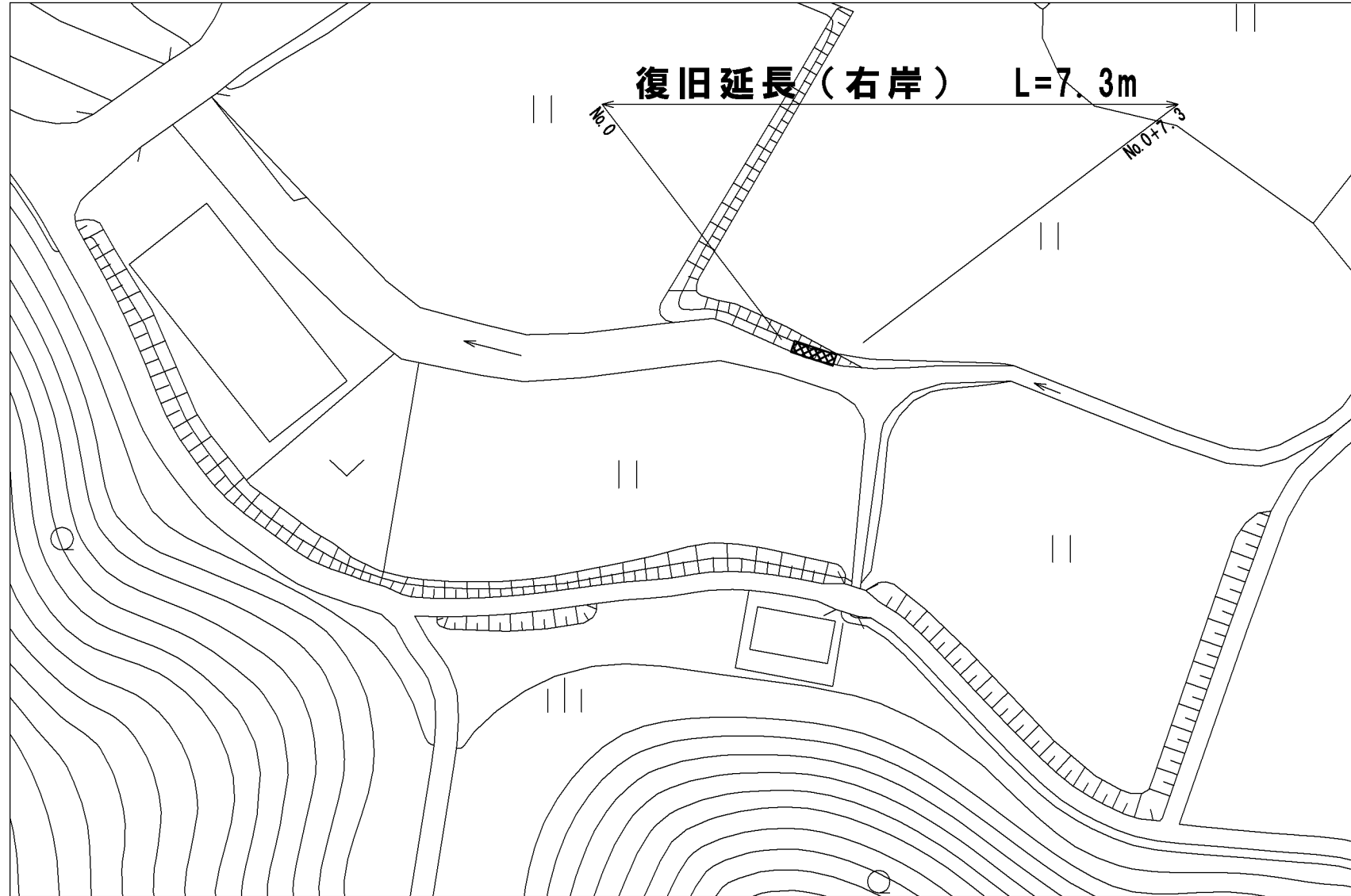
敷鉄板設置・撤去 $A=56m \times 3.0m = 168.0m^2$
 敷鉄板設置枚数 $N=56m \div 1.524 = 36.74$
 =37枚
 敷鉄板重量 $t=37枚 \times 0.802t/枚 = 29.67t$

工事名	平成29年度 H29国災 第118・420号 普通河川長谷川左右岸河川災害復旧工事		
図面名	仮設図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	5
事務所名	建設部 建設2課		

平面図 1:1000

工事概要

- 復旧延長（右岸） L=7.3m
- 環境保全型ブロック積工 A=17m²
- 小口止工1型 N= 1基
- 小口止工2型 N= 1基
- すり付け工 A= 7m²
- 植生工（ワラ芝） A= 1m²
- 土留・仮締切工（締切排水工） N= 1式

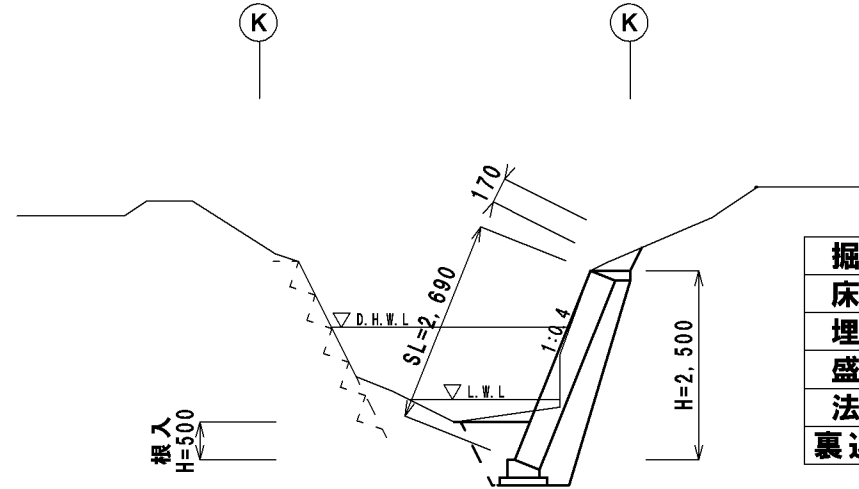


工事名	平成29年度 H29国災 第118・420号 普通河川長谷川左右岸河川災害復旧工事		
図面名	平面図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	6
事務所名	建設部 建設2課		

工事名	平成29年度 H29国災 第118・420号 普通河川長谷川左右岸河川災害復旧工事		
図面名	横断面図、縦断面図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	7
事務所名	建設部 建設2課		

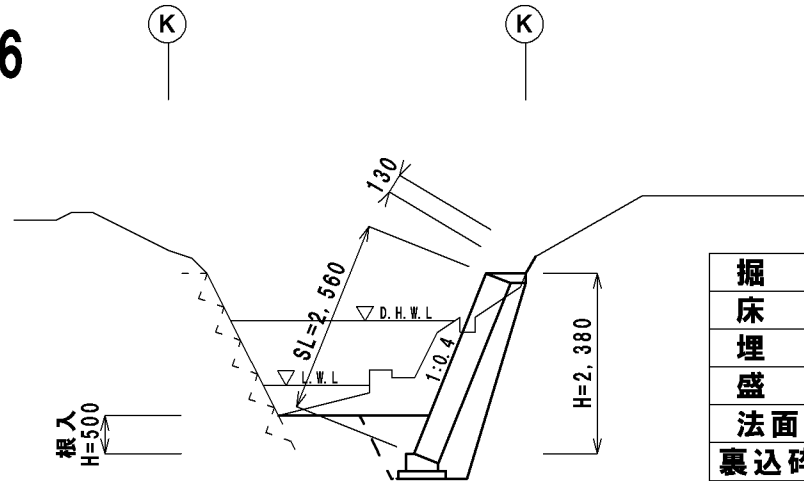
横断面図 1:100

No.0



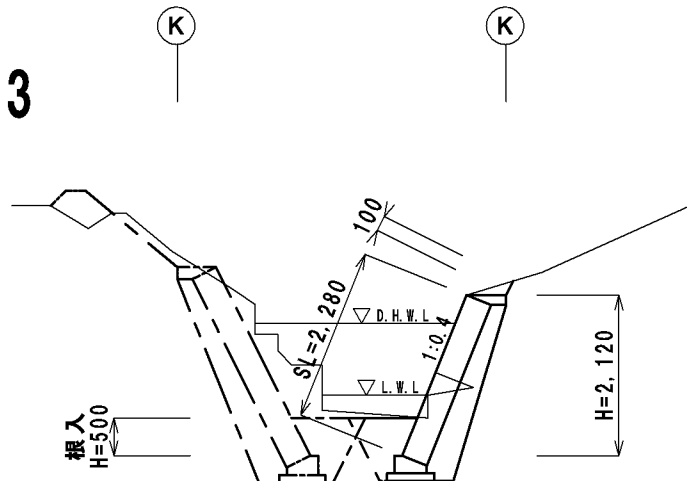
掘削	1.4m ²
床掘	1.2m ²
埋戻	0.4m ²
盛土	—
法面工	0.17m
裏込碎石	0.89m ²

No.0+3.6



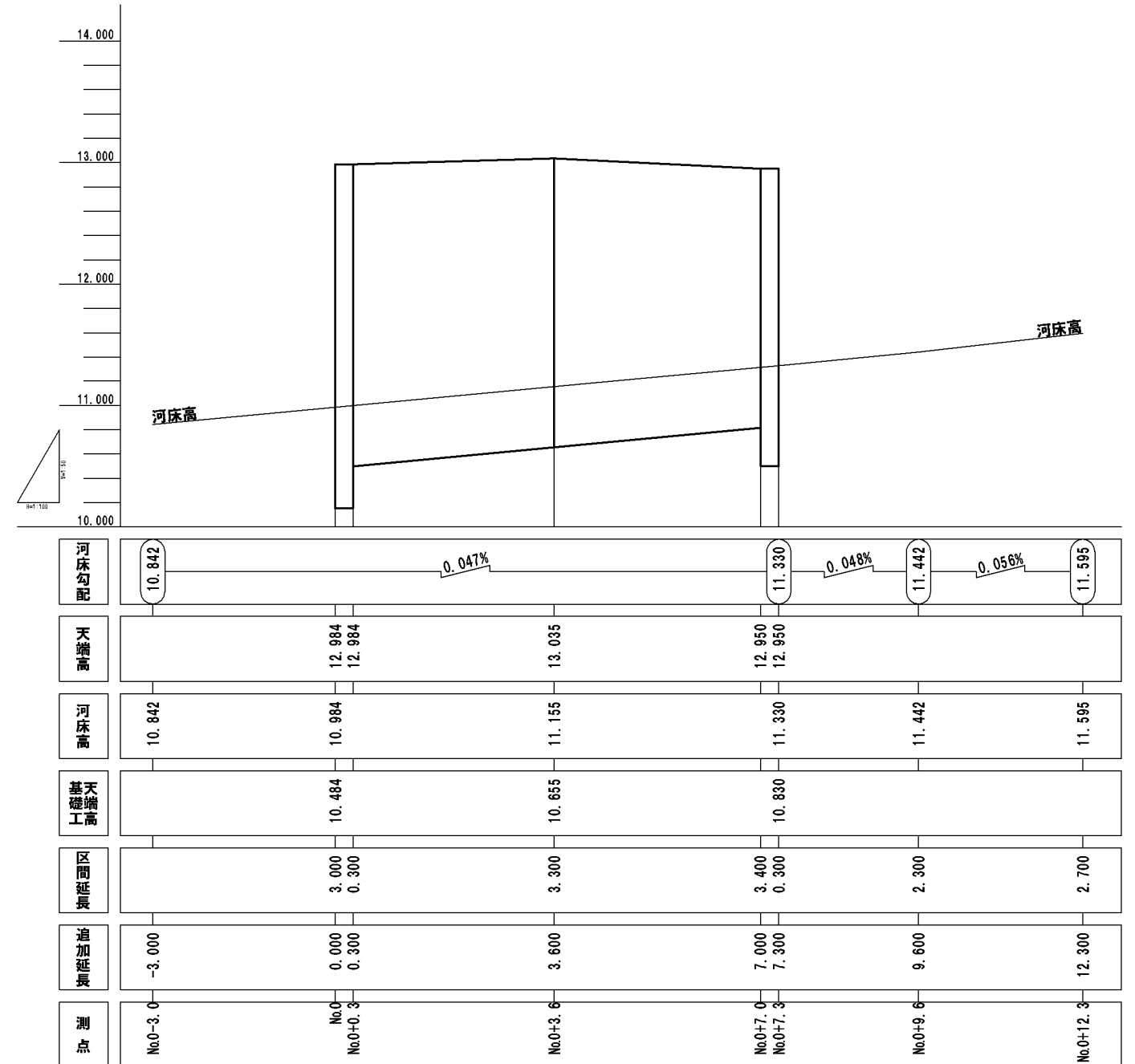
掘削	2.5m ²
床掘	1.2m ²
埋戻	0.4m ²
盛土	—
法面工	0.13m
裏込碎石	0.89m ²

No.0+7.3

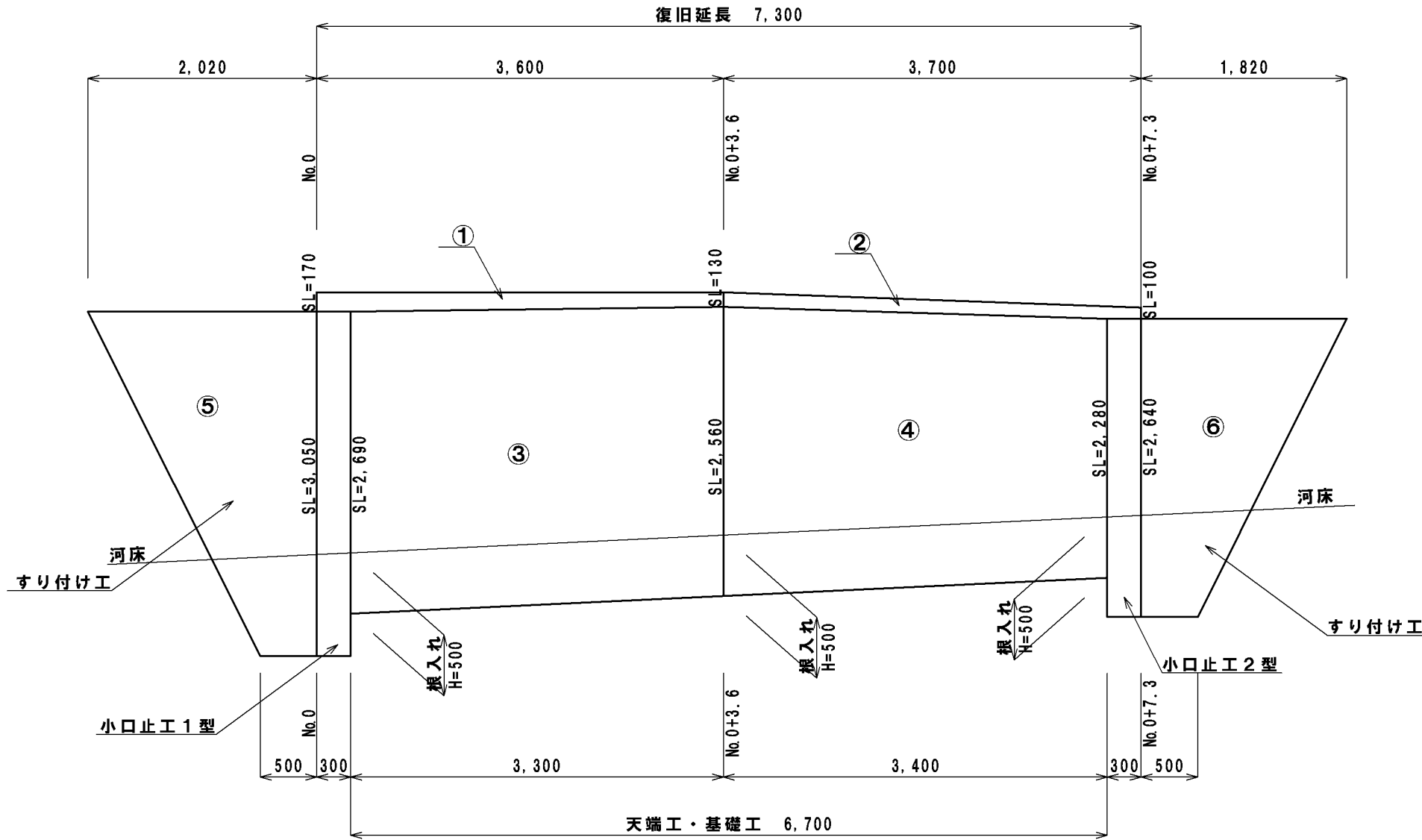


掘削	1.0m ²
床掘	1.2m ²
埋戻	0.4m ²
盛土	—
法面工	0.10m
裏込碎石	0.72m ²

縦断面図



展開図 1:50



植生工

- ① $(0.170 + 0.130) \div 2 \times 3.600 = 0.540\text{m}^2$
- ② $(0.130 + 0.100) \div 2 \times 3.700 = 0.425\text{m}^2$
- 合計 $0.540 + 0.425 = 0.965\text{m}^2$

環境保全型ブロック積工

- ③ $(2.690 + 2.560) \div 2 \times 3.300 = 8.662\text{m}^2$
- ④ $(2.560 + 2.280) \div 2 \times 3.400 = 8.228\text{m}^2$
- 合計 $8.662 + 8.228 = 16.890\text{m}^2$

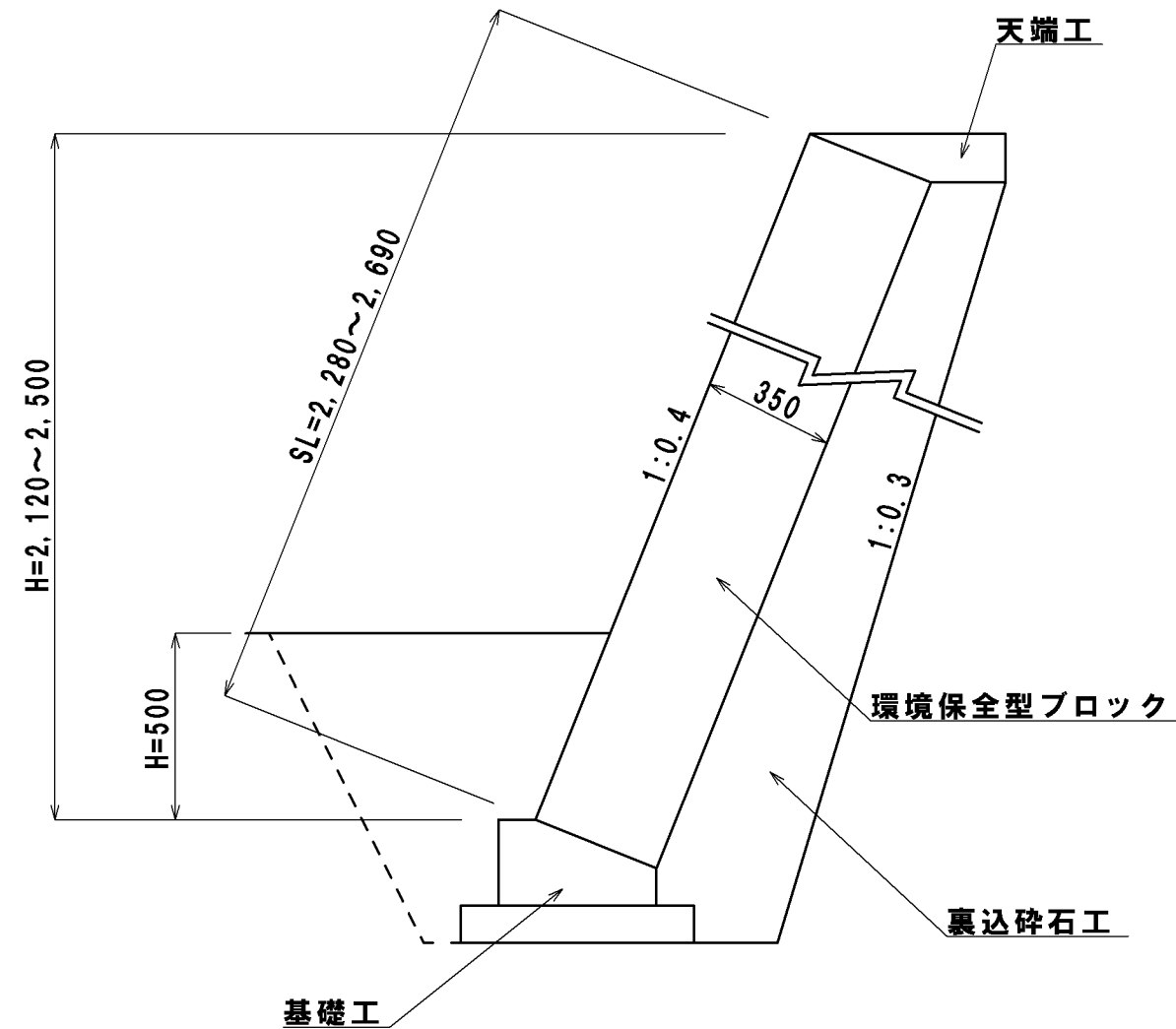
すり付け工

- ⑤ $(2.020 + 0.500) \div 2 \times 3.050 = 3.843\text{m}^2$
- ⑥ $(1.820 + 0.500) \div 2 \times 2.640 = 3.062\text{m}^2$
- 合計 $3.843 + 3.062 = 6.905\text{m}^2$

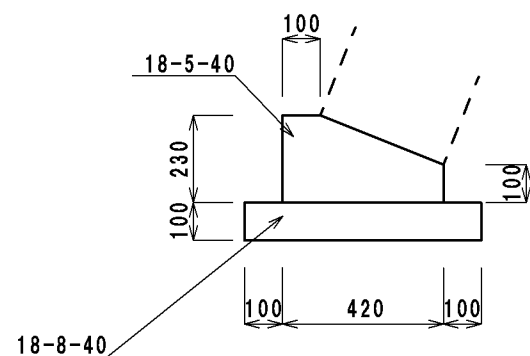
工事名	平成29年度 H29国災 第118・420号 普通河川長谷川左右岸河川災害復旧工事		
図面名	展開図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	8
事務所名	建設部 建設2課		

工法図

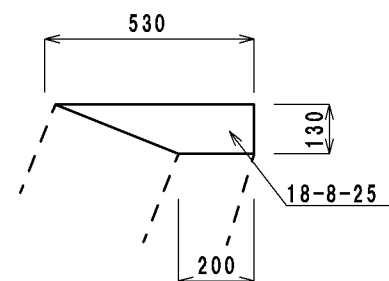
環境保全型ブロック積工 1:20



基礎工 1:20

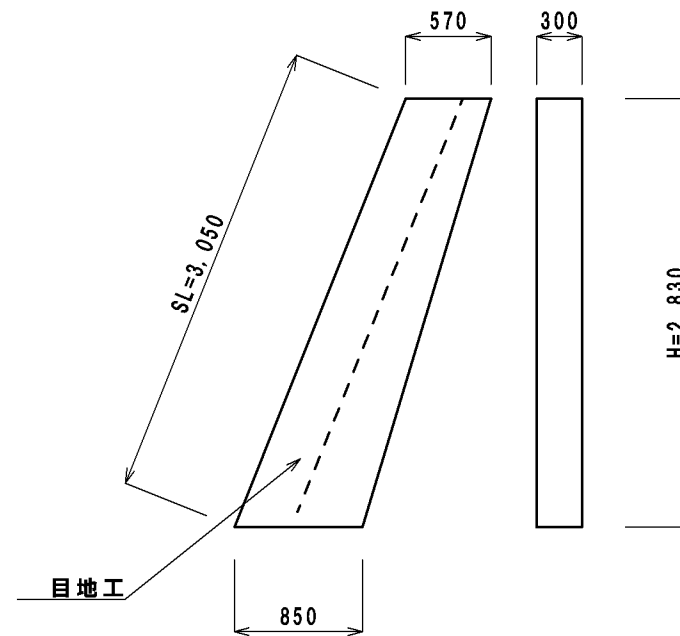


天端工 1:20



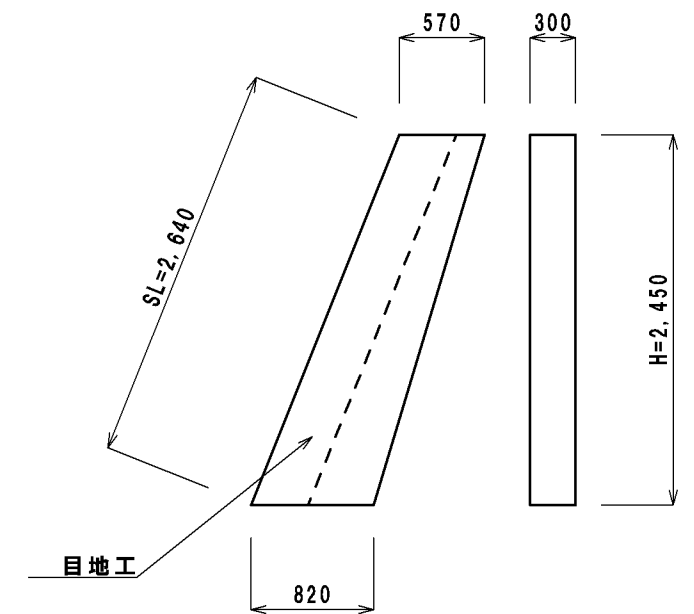
小口止工 1:50

小口止工 1型



コンクリート $(0.570 + 0.850) \div 2 \times 2.830 \times 0.30 = 0.602\text{m}^3$
 型枠 $(0.570 + 0.850) \div 2 \times 2.830 \times 2 = 4.018\text{m}^2$
 型枠(化粧) $3.050 \times 0.300 = 0.915\text{m}^2$
 目地材 $0.350 \times 3.050 = 1.067\text{m}^2$

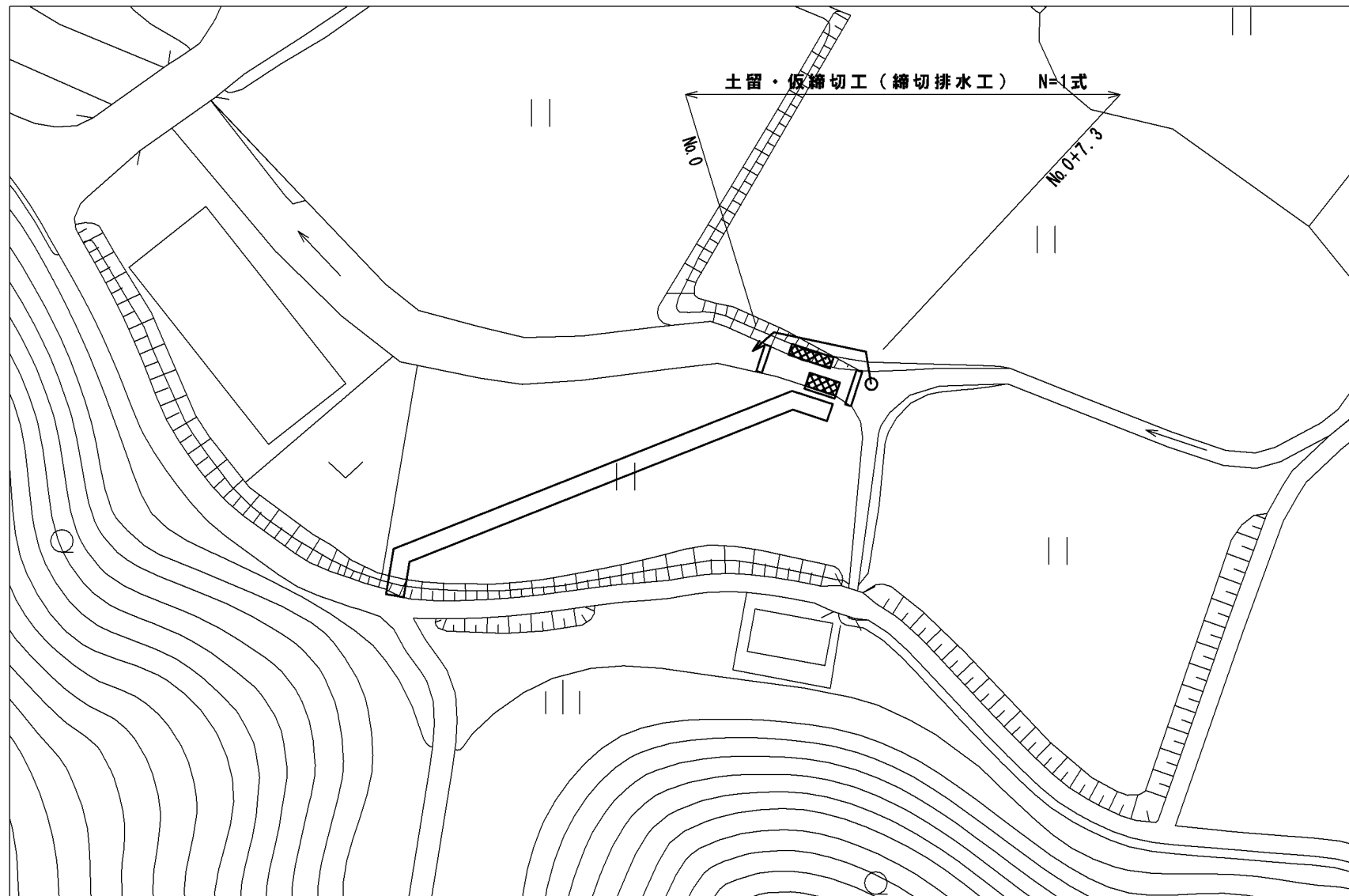
小口止工 2型



コンクリート $(0.570 + 0.820) \div 2 \times 2.450 \times 0.30 = 0.510\text{m}^3$
 型枠 $(0.570 + 0.820) \div 2 \times 2.450 \times 2 = 3.405\text{m}^2$
 型枠(化粧) $2.640 \times 0.300 = 0.792\text{m}^2$
 目地材 $0.350 \times 2.640 = 0.924\text{m}^2$

工事名	平成29年度 H29国災 第118・420号 普通河川長谷川左右岸河川災害復旧工事		
図面名	工法図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	9
事務所名	建設部 建設2課		

仮設平面図 1:1000



土留・仮締切工（大型土のう）、汚濁防止工、工事用道路については、4次査定 第118号 普通河川長谷川左岸河川災害復旧工事と隣接しているため、同時施工により復旧することから、本復旧工事では計上しないこととする。

工事名	平成29年度 H29国災 第118・420号 普通河川長谷川左右岸河川災害復旧工事		
図面名	仮設工		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	10
事務所名	建設部 建設2課		